

日本基督教団

東日本大震災救援対策本部ニュース

Vol. 03

2012年3月31日発行

169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 T/F 03-3205-6088 救援対策本部長 石橋秀雄



被災教会の 再建に向けて

日本基督教団
総会書記
救援対策本部書記
雲然俊美

■被災教会再建に向けての現状

この度の震災による被害は極めて大きく、今もって被災した教会堂や牧師館の再建計画を立てることができない教会が多くあります。その理由の一つに、震災後に相次いで発生した余震の影響があります。震災直後はそれほどの大きな亀裂と思われなかった箇所が余震が起るたびに徐々に隙間が広がり、結果的に大きな被害に至ってしまったということがありました。余震により教会堂外壁や礼拝堂内壁が崩れ、当初の見込みよりも被害額が増大した教会もありました。

津波の被害に遭った教会においては、その同じ場所（土地）に教会を再建できるのか、それとも移転するのかという問題があります。さらに、教会再建（建築）ということにおいて教会内の意見が一致するのに時間がかかることもあります。

中にはすでに会堂を取り壊した教会もありますし、建物の崩落の危険性があることから、緊急対応として補修工事を実施した教会もあります。けれども、ほとんどの教会では、牧師や会員自らが被災し、日々の生活や将来への不安を抱えつつ、上記のような様々な課題と向き合いながら、ようやく教会再建の目途を立てつつあるという状況です。

■被災教会の被害額について

教団所属の被災教会の被害額については、震災後、各教区の震災対応の担当の方たちの労苦によって何度も集計がなされておりますが、今もって被害額の確定は難しい状況です。教団救援対策本部において、12月末の段階で、奥羽・東北・関東・東京の各教区から被害報告が出された教会（関係施設・学校等は含まない）で、被害額が100万円を超えるところを集計したところ、全体で39教会（教会堂・牧師館が被災）、被害総額は約10億3500万円でした。その中には、自己資金での対応を検討している教会もあり、また、どのような補修や再建をするかによって必要経費が大きく変わることが予想される教会も多くあります。ですから、この金額をもってそのまま被害額とすることはできませんが、一つの目安になると救援対策本部では判断しました。そしてその金額をもとに、本来ならば当然その全額を支援すべきですが、当面はせめてその半額の5億円は支援しようとのことで、「被災教会支援金配分要綱」を作成しました（第5回常議員会で可決）。今後、被災教会から教区を通して教団に申請が出され、その支援を実施していくことになります。

なお、半額ということは、当然残りの半額をどう工面するのかとの問題が起こってきます。これについては、教団において建築資金の貸出制度の設置を検討中であり、できるだけ早くその運用にこぎ着けたいと努力しているところです。

■募金による支援の継続を

教団として教会再建・復興のために見込んでいる献金（募金）の目標額は、国内で5億円（全体で10億円）、海外から2億円（全体で12億円）です。ぜひとも、今後も継続して献金（募金）にご協力ください、目標達成のために共に祈りを合わせていただきますよう心よりお願ひ申し上げます。

教会は、今――

救援対策本部にとって教会（牧師館・附属施設等）の再建は重要な任務の一つです。第5回常議員会では「被災教会支援金配分要綱」を決議し、被災教会への支援を開始します。再建へ向けて、引き続きご支援お願い申し上げます。

■奥羽教区

3月11日の東日本大震災により、教区内の多くの教会は少なからず被害をこうむっています。沿岸地域の教会は、津波に伴い甚大な被害の中におかれることとなりました。被害の大きい地域と信徒不明者のあった教会、2011年4月7日の余震の被害も、あわせて報告します。

【北東地区】

■八戸小中野教会 佐藤浩之

教会員1名自宅津波被害 使用不能状態（家族無事）

■三戸伝道所 栗澤秀夫

建物礼拝堂の西側外壁の亀裂拡大補修必要

【岩手地区】 沿岸地域の教会は被害甚大内陸地域も被害が拡大している。

■内丸教会 中原眞澄

建物大きな被害なし

大槌町在住信徒1名連絡つかず不明（100日経過のため手続き上死亡確定）

■宮古教会 森分和基 当初、ひかり幼稚園に避難寝泊りしたが現在牧師館の2階で過ごしている。

津波被害 市内は海岸線に沿って壊滅状態。教会員津波被災者2家族。

教会牧師館1階水没床上ヘドロ（油・泥）により埋まる。

教会門扉前に流れてきた車4～5台重なりあっていたが、3月16日以降片付けを開始した。今後、計画としては教会とひかり幼稚園の協力により復興構想を検討していくこととなっている。1月23日より牧師館の応急処置工事を始めた。礼拝堂についても応急処置工事を開始する準備にとりかかった。



■新生釜石教会 柳谷雄介 家族無事 避難所での生活を続けながら教会での救援活動を継続している。

津波被害 市内は海岸線に沿って中心街を含めて壊滅状態。

教員津波被災者 7家族 職場全壊 3家族

教会牧師館 1階水没 床上 油泥により埋まる 礼拝堂はヘドロと瓦礫の山

講壇は壁が落ちている 教員の被災甚大 家屋流出者あり

臨時総会を開き、礼拝堂の修復工事を行うことを決定したが、さらに内容や予算について検討する必要がある。なお応急処置工事として玄関風除室を設置し、礼拝堂の壁の補修を始めている。



■新生釜石教会



■新生釜石教会

■千厩教会 三河豊、柳沼赦羊子 家族無事

礼拝堂、牧師館の柱は縦に亀裂が何本もあり危険建物となった。老朽な建物であちこち被害あり。避難先として借家を確保した。礼拝は信徒宅の広い部屋を利用することとし、教会の移転手続きは現時点では行わない（方向性が出るまで待つこととした）。また裏の山（砂土による山）に亀裂が入り、市より退避勧告があった。梅雨の雨のため擁壁に一部ふくらみが見えている。

教員との懇談の中で、移転地を確認し、臨時総会を開催した。今後は土地購入手続きと礼拝堂牧師館の建築準備を本格化する。



■千厩教会



■千厩教会

共に祈り、支えよう！

Let us pray for and support people and the church together!

■大船渡教会 3月末まで但馬秀典 家族無事 4月より村谷正人

礼拝堂は高台にあり、壁のちいさなひび割れのみ。牧師館も安全。大船渡隣接の陸前高田は津波により壊滅。

津波による教会員の逝去者 1名 津波被災者 6家族 職場被災 2名

教会は3月末牧師交代となり後任者（村谷正人）は3月21日現地に入り、ボランティアとして活動しつつ、前任者と避難所や町内会の方々と協力し、そのまま赴任となった。陸前高田の仮設、大船渡の仮設でのホットカーペットを配布し、地域の傾聴活動と共に韓国からの支援者による韓国デー（料理と舞踊）を実施した。



■北上教会 小林 功 礼拝堂内外の壁 教会員宅地盤沈下による傾き使用不能 1

■遠野教会 三浦洋一 礼拝堂壁面亀裂 牧師館の土台亀裂 雨漏り

2階屋内亀裂 幼稚園職員家屋流出 1

釜石や宮古、大船渡への中継地点となっており、教会を訪問され宿泊を求める方が多かった。牧師夫妻はそのために忙しくなった。大槌や釜石の幼稚園・保育園への配慮を行っている。

■土沢教会 生嶌陽子 新花巻駅や花巻空港から被災地への途中で訪問者が多い。

■江刺教会 邑原宗男 礼拝堂コンクリート土台の破損 天井を支える柱ひび割れ 牧師館内部壁ひび 雨樋損傷 地盤沈下

■一関教会 高橋良隆 礼拝堂内部壁面漆喰亀裂崩落

【秋田地区】

■秋南教会 篠崎勲、篠崎久美子 横手会堂の塔に亀裂

【関係施設の状況】

3月11日地震被災

①ひかり幼稚園（宮古教会関係幼稚園）

園児送迎用バス水没、後日バスはドイツより贈呈。施設外壁崩落土台の穴ひび割れ、園庭地割れ。応急補修見積もり600万円（含む園バス購入費用450万円）すでに修繕工事は完了したが余震で新たなひび割れができている。通常保育を行っているが、避難してこられた方の園児を受け入れているため、保育料の減免を行い経営を圧迫している。

Let us pray for and support people and the church together!

②認定こども園千厩小羊幼稚園（千厩教会関係幼稚園）

園庭ひび割れ　擁壁破損　ブロック擁壁、L型擁壁、撤去　新規築造必要
 園舎増築部分と既存部分のつなぎの破損　ホール天井部分の隙間拡大
 補修見積もり 2700 万円（擁壁工事費）応急補修は完了したが基本的に代替地に全面建替えの計画が進められている。

③釜石保育園（新生釜石教会関係幼稚園）

園舎は津波のため水没、全壊。建替が必要。応急補修の見積不能（同地の再建は可能性が薄い）。保護者と共に降園した園児 2 名逝去。他の園児は避難することができた。釜石市との交渉・斡旋により 3 月末廃園予定の釜石南幼稚園園舎を借用することができ、（借用期間 2 年）保育を行っている。今後の構想について検討中。7 月現在、幸いにも、園児数は 70 名を越えた。

④みどり幼稚園

園舎津波のため水没、全壊。建替が必要。応急補修の見積不能。保育を行えない他所に応急園舎を求めているが、現段階で適当なところが見つからぬいため経営に危機感を持っている。壊れている園舎を整理して保育再開の準備に 4 月 25 日以降入る予定であったが調査の結果、使用不能となった。みどり幼稚園舎まだ片づけが始まらない。その後、大槌高校の施設を利用して保育を行っている。再建のめどは立っていない。

⑤おさなご幼稚園

園舎津波のため 2 メートル水没。園舎床暖房の破損。現状応急補修の見積もりが出来ていない。4 月 21 日の登園園児 3 名。保護者被災のため、失職し園児を登園させられない（費用面から）。そのため、経営に危機感を持っている。理事長、園長は高齢であり、今後に不安を持っているが、同所での保育を継続している。

遠野教会三浦洋一牧師、内丸教会中原眞澄牧師も、みどり幼稚園・おさなご幼稚園への支援を継続している。

4 月 7 日余震等による被害状況の拡大

①睦保育園（一関教会関係保育園）

園舎：礼拝堂が保育室を兼ねている。漆喰壁の崩落。他の保育室で保育を継続している。

補修必要（礼拝堂ゆえに教会としての計画決定が必要）

補修工事は仮園舎の目処が立たないと着工できない。2 年後に廃園する施設を借用するための交渉に入っている。

②認定こども園ひかりの子（日詰教会関係保育園）

園舎：日詰幼稚園と認定こども園ひかりの子各園舎接合部分に隙間ができ、子どもの足の指や手の指が入る状況となり補修が必要。保護者より給食の残留放射線量の測定が求められており、対策を検討しているが、一園では対応に苦慮している。地域の事柄として支援を求めている。

③遠野聖光幼稚園（遠野教会関係幼稚園）

園舎：内外の壁の亀裂、補修必要。牧師がみどり幼稚園やおさなご幼稚園への支援を行っている。被災地から避難している園児の受け入れは経営の課題となりつつある。

Let us pray for and support people and the church together!

■東北教区

建物被害状況調査表 2012年1月30日現在

【宮城北地区】

教会名	建物被害状況 (上段から順に 会堂、牧師館・関係施設)	礼拝堂牧師館 の被害額	自己対応、再 建、復興の別	教区・教団 への要望額
石巻栄光	建物歪み、玄関タイル破損、床下浸水、園舎外壁剥離。軒下天井一部崩落、壁に穴	調査中	未定	
石巻山城町	壁、土台の一部に亀裂	未定		
陸前古川	上水道配管損壊、土台部分に隙間、牧師館被害大、園庭亀裂、教会墓地土台破損		自己対応	
涌谷	牧師館階段亀裂	未定	自己対応	
登米	牧師館ガラス一枚破損	未定	自己対応	
気仙沼集会	基礎・内壁・外壁に亀裂(会堂・牧師館共に牧師個人住宅)	未定		
いづみ愛泉	外壁・内壁・床・タイル等に亀裂 玄関階段崩壊、外側フェンス土台の破損	3,832,500円		100万円
泉高森	玄関部分亀裂	未定		
仙台松稜	地盤沈下により建物傾斜、屋根瓦脱落、内壁外壁亀裂、牧師館ドア損傷	4,811,450円	自己対応	
仙台北	大型ガラス3枚破損、塔屋外壁剥離、上水道配管破損、ジレットハウス(宿泊施設)門扉津波により流失	未定 (自己対応)	自己対応	
仙台川平	牧師館風呂場亀裂、外壁亀裂	牧師館、70万	自己対応	

【宮城中地区】

仙台ホサナ	内壁・外壁亀裂、牧師館は半壊		牧師館復興	牧師館復興
仙台東六番丁	ガラス2枚破損、玄関ポーチひび割れ 扉に歪み、屋根材剥落。	150,000	自己対応	
仙台東	壁面に亀裂、天井扇風機の落下 扉ガラス破損、牧師館のクロス破損	1,300,000	自己対応	
仙台青葉荘	屋根瓦一枚落下、外灯破損、牧師館の壁紙亀裂 風呂場タイル亀裂	100,000	自己対応	
仙台北三番丁	外壁亀裂・剥落	未定	自己対応	
仙台愛泉	地盤沈下により土台と地面の間に隙間、外階段破損(会堂・牧師館と幼稚園は一体の建物)	未定	自己対応	
仙台市民	ブロック塀倒壊	未定(自己対応)	自己対応	
宮城野愛泉	牧師館の家具が倒れ、壁と床に穴	未定	自己対応	

【相双・宮城南地区】

仙台東一番丁	塗装剥離、鐘楼亀裂	未定	自己対応	
仙台五橋	内壁に亀裂、外壁に穴とずれ	調査中	自己対応	
仙台長町	亀裂多数 壁崩落 建物傾斜、解体予定		新築計画による自己対応	
仙台広瀬河畔	壁に亀裂、一部崩落、土地擁壁に亀裂、牧師館の土台に亀裂、壁に一部亀裂	調査中	自己対応	
名取	内壁外壁に亀裂、壁内部鉄骨一部破断、会堂床に亀裂2ヶ所、牧師館全体に内壁に亀裂	4,500,000円	要支援	150万円
岩沼	会堂全体(石積み)特に塔部分に破損	約3千万円	再建1千万円支出	3千万円
大河原	保育園のうち一つにガラス破損、一つに壁亀裂	200,000円	自己対応	

教会名	建物被害状況 (上段から順に 会堂、牧師館・関係施設)	礼拝堂牧師館 の被害額	自己対応、再 建、復興の別	教区・教団 への要望額
角田	礼拝堂として使用中の幼稚園ホール補強、敷地擁護壁損傷	幼稚園名義で 5,046,353 円	支援要望	2千万円
白石	会堂全体に亀裂、隣接塀倒壊、鐘楼傾き鐘落下、牧師館の壁せん断破壊、風呂場タイル剥離	1,213,905 円 (北側外壁の部分の仮工事)	会堂、牧師館 復興、自己資金あり	会堂牧師館 復興費用
中村	会堂 2 階部分変形、亀裂、塀に損傷、牧師館部分全体に東へ歪む、教会墓地の墓石破損		牧師館復興 会堂再建	牧師館復興 費用、会堂改修費用
鹿島栄光 (重点支援)	瓦一部落下、礼拝堂入口天井落下、牧師館と旧園舎の一部が傾いている		会堂牧師館復 興	会堂牧師館 復興費用
原町	牧師館基礎にひび。保育園建物にひび。	未定		
小高（伝）	壁破損。上水道配管破損。警戒区域	調査不能	長期計画	
浪江（伝）	警戒区域	調査不能	〃	

【福島地区】

福島	礼拝堂は既に取り壊し。塀一部損壊。		復興	会堂牧師館 復興費用
信夫	内壁外壁に亀裂、天井の一部崩落、牧師館は 壁面に亀裂	自己対応		
福島新町	屋根瓦落下、煙突 2 本撤去、外壁亀裂、土台 に傾き	17,370,222 円	1 千万円支出	1 千万円
川俣	外壁に亀裂、礼拝堂ガラス破損、壁剥落、牧 師館全体が大きく歪む、墓地に地割		牧師館復興 会堂改修	2500 万円



【いわき・郡山地区】

郡山	牧師館解体		牧師館復興 自己資金 1千万円	
安積	内壁外壁に亀裂。玄関に亀裂。台所ドアに歪み。 十字架傾き。外塀に亀裂。上水道配管にひび。	5,985,000 円	再建、自己資 金 300 万 要支 援額 300 万	300万円※上 水道工事費は ここに含まず
三春	トイレ破損、外壁に亀裂。幼稚園舎・擁壁・ 構造物・雨水管に被害	会 堂 220,005 円（牧師私宅 600 万）		220,005 円
郡山細沼	床・天井にゆがみ 外壁に亀裂。内壁剥落。煙 突破損。フェンス倒壊。	19,500,000 円	再建（自己対 応検討）	

共に祈り、支えよう！

Let us pray for and support people and the church together!



須賀川	礼拝堂と集会室の間に亀裂、地盤沈下により基礎露出。幼稚園・保育園（7施設）に被害	9,418,500円 (自己対応)	6,680,178円 (自己対応)	
本宮	屋根一部と外壁が破損、牧師館の居間の床柱が傾き。幼稚園の壁亀裂、崩落。	調査中	調査中 ※堤防工事の為移転の可能性有	
矢吹	会堂ガラス2枚破損、ドア破損、牧師館の土壁崩落	約100,000円	自己対応	
川谷	ガラス破損。保育園の床沈下、浄化槽破損、駐車場液状化	65,000円	自己対応	
磐城	礼拝堂全体が傾斜。地盤沈下により教会堂と牧師館の間にずれ。			
常磐	会堂、牧師館全体に被害。解体決定。		会堂牧師館復興	
勿来	屋根瓦のずれ、外壁と玄関の床に亀裂	1,112,737円	要支援	1,112,737円

【会津地区】 提出教会のみ記載

若松栄町	天井内壁に亀裂、牧師館の水道管破損	約1,630,000円		1,630,000円
会津若松	内壁に亀裂			
川桁（伝）	柱傾斜			
猪苗代	外壁亀裂			

【山形南地区】 提出教会のみ記載

米沢	内壁と土台に亀裂、漆喰崩落、牧師館の内壁外壁に亀裂、車庫外壁の一部崩落		自己対応	
宮内	礼拝堂に亀裂	未定		

■関東教区

■水戸中央教会

牧師館、集会室（旧幼稚園舎）、礼拝堂が一体の建物。牧師館と集会室に甚大な被害があり、半壊認定を受ける。放置すると危険な状態のため、急遽牧師館と集会室の半分を取壊し。一体の建物のため、総工費1億円で会堂と牧師館を建築し、現会堂をリフォームして集会室とする計画を立てている。関東教区の支援で、牧師家族は隣の賃貸マンションで仮住まい。



■宇都宮教会

会堂 2 階部分の礼拝室の漆喰天井が大幅に落下し、応急処置。礼拝は、1 階集会室で守る。老朽化した会堂の上、構造上の問題があり、本来建物全体を守るべき梁や柱が一部入っていない。このため、構造補強や耐震補強も必要となり、建て替えが望ましいとなる。10月9日開催の臨時教会総会で全面新築を決意。建築委員会を組織して新会堂建築へと歩む。現時点での工事予算は、総工費 1 億 2,500 万円。



■伊勢崎教会

1938 年に建てられた歴史的な会堂。会堂内部の漆喰の壁が落ち、屋根の重さで壁が傾く状態。余震によりその傾きが増し、半壊判定以上の危険な水準にあり、現在は立ち入り禁止。立て替えと同等の費用を要する大規模な修繕工事となる。礼拝等、教会の諸活動は別館の教育館にて。

■下館教会・いずみ幼稚園・めぐみ保育園

会堂・牧師館共に、外壁に多数の亀裂、雨水の漏水により建物が痛む可能性あり。内壁や床の損傷も激しく、壁面の亀裂・ズレ等がある。床面のレベルの不具合により、建具の不具合が生じる。耐震診断後、会堂は取り壊して新築する方向で検討中。建築予算は 3,000 万円と。関連施設のいずみ幼稚園・めぐみ保育園は、建物内外に多数の亀裂、天井も揺れによる天井材のズレ、損傷がある。1974 年建築で、耐震も弱く老朽化が激しいため、立て替えを検討中。予算は、現時点では 1 億 9950 万円。

■竜ヶ崎教会・竜ヶ崎幼稚園・竜ヶ崎保育園

会堂は外壁に一部亀裂が生じたが、軽微な被害。牧師館は、外壁・内壁に亀裂が多数生じ、屋根にもひび割れが発生。また、基礎部分のコンクリートが一部剥がれ落ちる。修理見積もりは、3,885,000 円。関連施設の竜ヶ崎幼稚園・竜ヶ崎保育園の被害が大きく、4500 万円の修復工事が必要。幼稚園ホールの壁が内側に傾き、保育室のつり天井が揺れで破損、ホールの床は隆起。内壁・外壁の至る所に亀裂。園庭の斜面の土砂が流失、擁壁が破損。大規模工事のため、夏休みを待って着工し、3月末に終了予定。また、放射能の影響も大きく、第 1 回の除染工事に 230 万円、今後第 2 回目の除染を行う予定。退園や入園延期児童もあり。

■桐生東部教会

鉄筋 4 階の会堂・牧師館と、鉄骨 3 階建てのエレベーター・集会室等棟が、地震でぶつかり、建物のつなぎ目部分に大きな損傷。4 階牧師館の排水管が破損し、階下に水漏れを起こし牧師館での排水を停止。10 月中旬、関東教区の支援で牧師家族はアパートへ仮住まい。駐車場が陥没し隆起、全体的にアスファルトを敷き直す必要あり。補修工事の工費は 19,175,100 円。



■甘楽教会

外壁の大谷石の亀裂が多数発生、運動して内壁も亀裂が発生。外壁の補修と内壁の全面的な塗り直しが必要。外部関係は、今後の保持も検討し撥水処理を施しても 450 万円位で、内部はひび割れ補修を主体に補修しても 176 万円、合計 626 万位の概算工事費。

■宇都宮上町教会・みふみ幼稚園

会堂の南外壁が一部崩落し、北外壁にひび割れ。会堂内部の壁が崩落、十字架塔鉄骨にはく離の被害等。建物の耐震補強工事が困難、必要最小限の補修にとどめ、将来的には敷地内に平屋の新会堂建築を検討中。補修工事費用は、4,931,289 円。関連施設のみふみ幼稚園は、外壁の崩落やひび割れ、内壁のひび割れや屋根の破損。応急工事に 129 万円。資金面を考え、既存建物の有効な活用を計画。2 階部分を撤去、落下物を出来るだけ減らすために天井を取り払い屋根と一体化し軽量化。壁を補強することで、耐震化を実現。これらの工事予算は 3,600 万円。

■益子教会

会堂入口上部の塔が傾き、危険な状態。塔を撤去し、入口部分を作り直すことに。礼拝堂と牧師館に亀裂あり。会員減少で教会会計が厳しく、関東教区が業者と契約し、補修工事を進行中。補修工事費は462万円、内182万円を関東教区が立替え。12月11日、工事終了の感謝礼拝。

■水戸自由ヶ丘教会

会堂並びに牧師館の屋根（瓦）・天井・内壁の修繕と、下水・浄化槽の修復のために本管につなぐ工事に着手。総額3,664,500円の工事。教員が少ないため、不足資金2,032,500円を関東教区が立て替え。

■水戸教会・聖光学園保育部

地盤沈下、液状化現象が一部あり、インターロッキングに凹凸が生じる。建物は、新しい会堂・保育園舎だが、コンクリート外壁・内壁に相当数のひび割れあり。また、給食室の床面のひび割れと下水配管は要調査、1階園ホールの床面の一部盛り上がりあり。保育園舎の地震被害額は約350万円、会堂の被害額算出はこれから。

■鹿島教会・鹿島幼稚園

礼拝堂の天井部分が震災後、雨漏り。屋上の防水シートがはがれ、内部が破損したため。工事費は175万円。関連施設の鹿島幼稚園は、園舎の壁が一部損傷。消火用ポンプが破損し要修理、地割れの対策としてフェンスを設置。これらの費用1,587,310円に対する行政の補助なし。全額自己対応。

■安中教会

1919年に建造された大谷石造りの新島襄記念会堂は内壁のひびと剥落、手摺など壁との接合部の損傷。雨漏りあり。今回は礼拝堂内壁の補修（原状回復に留意）のみを行う。工事費用は、2,793,000円。また、事務室として使用している建物も、漆喰の土壁上層部が浮いた状態。下塗りから全て落とし、塗り直して現状復帰、205,000円の工事。

■原市教会

当初の建物とその後増築された建物との接続部分および外壁に亀裂。放置していると損傷部の拡大が予想されるため外壁の全面的改修が必要。その他内外壁に多数の亀裂、雨漏り改修も必要。

四條町教会



■四條町教会・清愛幼稚園

会堂外壁に亀裂が多数入り、付属館（フライ記念館）外壁のコーティング材がほとんど剥落。修繕費の見積もり額は約350万円。過去2年間で600万円の修理をしたばかりで、資金的な問題から140万円で最低限の工事を行う。付属館のコーティング工事費用は745,000円。関連施設の聖愛幼稚園は、内壁に亀裂が多数。今後の改修は、現在検討中。

■牛久教会こどものいえ幼稚園

関連施設のこどものいえ幼稚園は、地盤沈下で園舎の床と屋根が沈下。今年度の終わりに床の改修を行い、屋根は2012年度以降を予定。これから工事は1,653,000円の見込み。無認可施設のため費用は全額自己対応。

■行田教会

牧師館の屋根瓦が落下。スレート屋根に変更する工事をし、105万円支出。

■勝田教会

礼拝堂正面壁のクロスシート・袖壁のクロスシートに亀裂が生じ、廊下壁のクロスシートが剥がれる。礼拝号天窓のルーバーが破損。修理費は325,000円。

■勝田教会常陸大宮チャペル

礼拝堂の内壁・ホールの内壁・外壁の一部・テラス丸柱に、多数の亀裂。吊鐘塔の外壁が剥がれ落ち、鐘支持軸の片側が支持台より外れ落下。中庭に面した窓ガラス（1,600×2,000cm）、トイレ用ロータン

Let us pray for and support people and the church together!

ク（磁器製）が破損。トイレ使用不可。家具の破損や建具の不具合など多くの被害。礼拝堂とホール、外壁に足場を組み、亀裂の部分にパテ処理と塗装を行うなどの修理を行い、費用は1,051,850円。

■西那須野教会

会堂内外壁に亀裂が多数、母子室の天井一部落下、台所什器備品やホール什器備品が落なし破損。会堂2階吹き抜け部分には、四面に亀裂。礼拝堂設置のパイプオルガンが地震の影響で動き、パイプが倒れる。会堂外壁や牧師館外壁のサイディング接合部分の亀裂が拡大、会堂屋根の飾り塔が折れる。補修工事は終了。なお、教会境内地の放射線量が高い。

■水海道教会

稻田だったところを埋め立てたので土地の陥没、沈下がみられる。会堂の車いす用のスロープが壊れ、会堂玄関ドアの床が落ち、金物が露出して危険。内壁の亀裂大、女子トイレタイル剥がれ、牧師館に亀裂多数。修理の計画は今後。

■日立教会

建物内壁の亀裂やタイル落下等の破損。余震の都度亀裂が大きくなり、落ち着いてから修理を検討中。

■島村教会

会堂講壇部分に亀裂。行政とも相談しながら、精密な検査を行って、修復工事を検討。被害額は未定。

■桐生教会

会堂本体は軽微な損傷。増築部分との継ぎ目や増築建物の部分に亀裂あり。

■泉町教会

会堂外壁、会堂基礎、会堂内壁に亀裂が多数。会堂天井材の剥離あり。

■石岡教会

牧師館の漆喰壁のひび割れと一部崩落。屋根瓦のずれや土台のずれ、会堂内壁もひび割れ。補修は、自己資金で対応。

■諸川教会・諸川めぐみ幼稚園

関連施設の諸川めぐみ幼稚園は、保育室の梁のずれ。工事は自己資金で対応、完了。

■東京教区

千葉支区 安食教会

会堂土台基礎部分が剥落および不陸。会堂・牧師館傾斜、外壁および水周りの損傷大。

半壊の罹災証明を受ける。建て替え決定。

信徒の友 別巻

その時、教会は——

3.11 後を生きる

証言 2011年3月11日とそれに続く日々

『信徒の友』編集部 編 B5判・104頁・税込1680円
日本キリスト教団出版局発行

被災地の教会・信徒・牧師は東日本大震災をどのように受けとめ、その中を生きたのか、写真と証言でつづる。

*売上の一冊は被災地支援に寄付されます。

■お求めは全国のキリスト教書店、または下記まで

TEL 03-3204-0422 FAX 03-3204-0457

日本キリスト教団出版局



東日本大震災救援募金会計

総額 484,214,592 円

国内 274,533,287 円

海外 209,681,305 円

2012年2月29日現在

東日本大震災緊急救援募金・東日本大震災救援募金教区別集計表
(単位:円)

教区	件数	金額
北海	43	1,657,621
奥羽	46	1,623,426
東北	28	1,463,320
関東	270	17,947,567
東京	541	74,803,934
東京・東	92	7,975,526
東京・西南	152	36,908,148
東京・南	56	9,816,092
東京・北	102	10,668,144
東京・千葉	139	9,436,024
西東京	241	21,182,649
神奈川	219	18,609,493
東海	171	15,679,366
中部	226	24,148,541
京都	48	4,767,058
大阪	202	17,367,296
兵庫	58	7,133,676
東中国	36	2,098,500
西中国	86	4,247,409
四国	169	9,396,281
九州	165	10,505,534
沖縄	44	1,714,388
個人・他	454	40,187,228
総計	3,047	274,533,287

* 2011年3月15日～2月29日

東日本大震災救援対策委員会会計、東日本大震災救援対策本部会計
中間収支計算書
(単位:円)

	救援対策委員会	救援対策本部	合計	
	2011年3月12日～6月30日	2011年7月1日～2月29日	2011年3月12日～2月29日	備考
【収入の部】				
緑入金	50,000,000	0	50,000,000	* 1
海外募金収入	99,838,453	109,842,852	209,681,305	
国内募金収入	94,418,359	180,114,928	274,533,287	
緊急救援募金緑入	94,418,359	0	94,418,359	* 2
東日本大震災救援募金	0	180,114,928	180,114,928	
当年度収入合計(A)	244,256,812	289,957,780	534,214,592	
前期緑越収支差額	0	142,008,048		
収入合計(B)	244,256,812	431,965,828		
【支出の部】				
救援金	42,000,000	34,154,004	76,154,004	
見舞金	1,880,000	30,000	1,910,000	
委員会費	4,500	2,874,673	2,879,173	* 3
渉外費	878,061	52,102	930,163	
人件費	650,000	12,139,150	12,789,150	
事務費	3,907,538	12,536,683	16,444,221	
活動費	1,415,443	910,854	2,326,297	
車両費	1,513,222	2,022,039	3,535,261	
建物費	0	13,251,327	13,251,327	* 4
救援対策本部緑出金	0	0	0	
救援対策基金戻入金	50,000,000	0	50,000,000	
当年度支出合計(C)	102,248,764	77,970,832	180,219,596	
当年度収支差額(A)-(C)	142,008,048	211,986,948	353,994,996	
次年度緑越収支差額(B)-(C)	142,008,048	353,994,996		

* 1 救援対策基金より繰り入れ

* 2 社会委員会緊急救援募金緑入含む

* 3 委員会費（東日本大震災シンポジウム開催費含む）

* 4 「エマオ石巻」開設のため土地・建物購入、建物修繕工事

救援対策本部から



イースターを前にした時期に発行する「救援対策本部ニュース」第3号は、各教区から出された被災教会の報告を掲載しました。報告書のスタイルは統一していませんが、諸教会の被害状況を知りたいと思います。

この報告によると、被害の大小は別として、奥羽教区では全体で58教会がある中で13の教会（ほかに教会関係幼稚園8ヶ所）が被災しました。東北教区は89教会の内54が被災、関東教区は146教会の内27が被災、東京教区は1教会が被災。これらを合計すると95の教会に程度の差はある被害が出ています。

それが再建計画を立てようとしておられます。東北教区の表をご覧のように、被害総額を算出することは容易ではなく、「未定」や「調査中」の教会が少なくありません。また再建の目途が立たない教会や、福島県の放射能警戒区域にあって「調査不能」の教会もあります。

すべての教会が再建されるまでには、おそらく私たちの当面の募金目標だけでは足りない金額が必要であり、かなりの年数もかかることが予想されます。

しかし「教会を支えるのは教会だけ」です。これから長い時間かけて私たちは、互いに支え合う教団に変わっていかなければなりません。復活の主が共におられることを信じ、新しい時代に踏み出してまいりたいものです。（大村栄／救援対策本部・阿佐ヶ谷教会）

【募金振込先】

振替番号 00110-6-639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金